



プロレタリア文化大革命を
最後までおしすすめよう

北 京 外 文 出 版 社

プロレタリア文化大革命を
最後までおしすすめよう

外文出版社

北京

16条

目次

中国共産党中央委員会のプロレタリア文化大革命についての決定……………(一九六六年八月八日採択) …… 5

* * *

毛主席、百万の大衆とともに文化大革命を祝う……………(一九六六年八月十八日) …… 21

毛主席、五十万の紅衛兵、革命的教員・学生と会見……………(一九六六年八月三十一日) …… 27

毛主席、また百万の革命的少勇将と会見……………(一九六六年九月十五日) …… 27

プロレタリア文化大革命を祝う大衆集会での林彪同志のあいさつ……………(一九六六年八月十八日) …… 35

各地から北京にやってきた革命的教員・学生と
 会見するための大会における林彪同志のあいさつ……………(一九六六年八月三十一日) …… 39

全国各地から北京にやってきた革命的教員・学生と
 会見するための大会における林彪同志のあいさつ……………(一九六六年九月十五日) …… 43

プロレタリア文化大革命を祝う大衆集会での周恩来同志のあいさつ……………(一九六六年八月十八日) …… 47

各地から北京にやってきた革命的教員・学生と
 会見するための大会における周恩来同志のあいさつ……………(一九六六年八月三十一日) …… 50

全国各地から北京にやってきた革命的教員・学生と
会見するための大会における周恩来同志のあいさつ……………(一九六六年九月十五日) …… 54

* * *

文化大革命の思想的武器を掌握しよう……………『人民日報』社説(一九六六年八月十一日) …… 57
大海を航行するには舵手にたよる……………『人民日報』社説(一九六六年八月十五日) …… 60
泳ぐなかで泳ぎを覚える……………『人民日報』社説(一九六六年八月十七日) …… 63
たいへんげつこうだ!……………『人民日報』社説(一九六六年八月二十三日) …… 66

中国共産党中央委員会の

プロレタリア文化大革命についての決定

(一九六六年八月八日採択)

一、社会主義革命の新たな段階

いまくりひろげられているプロレタリア文化大革命は、人びとの魂にふれる大革命であり、わが国社会主義革命のより深く、より広い、新たな発展段階である。

毛沢東同志は、党の第八期中央委員会第十回総会で、およそ権力をうち倒そうとすれば、まず世論をつくり出さなければならず、まずイデオロギーの分野における活動をおこなわなければならない。革命の階級もそのとおりであるし、反革命の階級もそのとおりである、とのべた。実践が立証しているように、毛沢東同志のこの論断はまったく正しいものである。

ブルジョアジーはすでにうち倒されたとはいえ、かれらは搾取階級の旧思想、旧文化、旧風俗、旧習慣によって大衆をむしばみ、人びとの心を征服し、なんとかかれらの復活の目的をとげようとしている。プロレタリアー

トはその正反対であつて、かならずイデオロギーの分野におけるブルジョアジーのすべての挑戦にまっとうから痛撃をくわえ、プロレタリアート自身の新思想、新文化、新風俗、新習慣によつて社会全体の精神的様相をあらためなければならぬ。当面のわれわれの目的は、資本主義の道をあゆむ実権派を闘争によつてたたきつぶし、ブルジョアジーの反動的學術「権威者」を批判し、ブルジョアジーとすべての搾取階級のイデオロギーを批判し、教育を改革し、文学・芸術を改革し、社会主義の経済的土台に適応しないすべての上部構造を改革して、社会主義制度の強化と発展に役だつようにならなければならない。

二、主流と曲折

広はんな労働者・農民・兵士、革命的知識人、革命的幹部は、この文化大革命の主力部隊である。もともと名も知られなかつた多くの革命的青少年が、勇敢な猛将となつてゐる。かれらは、氣迫があり、知恵がある。かれらは大字報や大討論の形で、大いに意見をのべ、大いに暴露し、大いに批判し、おもてだつたブルジョアジーの代表者やひそみかくれたブルジョアジーの代表者に断固とした攻撃をくわへてゐる。このように大きな革命運動のなかでは、かれらにもあれこれの欠陥はまぬかれがたいが、かれらの革命の大きな方向は一貫して正しいものである。これはプロレタリア文化大革命の主流である。プロレタリア文化大革命は、いま、この大きな方向にそつてひきつづき前進してゐる。

文化大革命が革命である以上、阻害する力にあうのは避けられない。このような阻害する力は、主として党内に

もぐりこんだ、資本主義の道をあゆむ実権派から来るが、また古い社会の習慣の力からも来る。このような阻害する力は、いまのところまだかなり大きく、がん強である。しかし、プロレタリア文化大革命は、とどのつまり、大勢のおもむくところであつて、はばむことができない。多くの事実が物語つてゐるやうに、大衆を十分に立ちあげさせさえすれば、このような阻害する力は急速におしつぶされるのである。

阻害する力が比較的大きいため、闘争は反復されるし、何回も反復される可能性さえある。このような反復は、なんらの害もない。プロレタリアートとその他の勤労大衆、とりわけ若い世代は、そこから鍛えられ、経験と教訓をくみとり、革命の道がなだらかではなく、曲がりくねつたものであることを理解するであらう。

三、「敢然」ということをなによりも念頭におき、

思うぞんぶん大衆を立ちあげさせること

党の指導部が敢然と思うぞんぶん大衆を立ちあげさせるかどうかは、この文化大革命の運命を左右するであらう。

いま、党の各級組織の文化革命運動にたいする指導には、つぎのような四種類の状況がある。

(一) 運動の先頭に立つて、敢然と思うぞんぶん大衆を立ちあげさせる。かれらは、「敢然」ということをなによりも念頭におく、なにものをも恐れない共産主義の戦士であり、毛主席のりっぱな学生である。かれらは大字報や大討論を提唱して、大衆がすべての妖怪変化を暴露するようにはげまし、同時にまた、大衆がかれらの活

動のなかの欠陥や誤りを批判するようにはげましている。このような正しい指導は、プロレタリア政治の先行によるものであり、毛沢東思想の先導によるものである。

(二) 多くの部門の責任者は、この偉大な闘争の指導について、まだまだ理解しておらず、まだまだ真剣ではなく、まだまだ力をそいでいない。そのため軟弱で無力な状態にある。かれらは、「恐ろしい」ということがなによりも頭にきて、古いやり方にしがみつき、きまりきったやり方をうち破ろうとせず、進取をもとめない。かれらは大衆の革命的な新しい秩序を唐突に感じており、そのため、指導が情勢に立ちおくれ、大衆に立ちおかれている。

(三) 一部の部門の責任者は、平素からあれこれの誤りがあるため、なおさら、「恐ろしい」ということがなによりも頭にきて、大衆が立ちあがってかれらのしつぽをつかまはしなかと恐れている。実際には、かれらが真剣に自己批判をし、大衆の批判をうけいれさえすれば、党と大衆がわかつてくれるのである。そうしなければ、ひきつづき誤りをおかし、ついには大衆運動の足手まといとなるであろう。

(四) 一部の部門は、党内にもぐりこんだ、資本主義の道をあゆむ実権派に握られている。これらの実権派は、大衆からあばき出されるのを極度に恐れており、そのため、さまざまの口実をもうけて、大衆運動をおさえつけている。かれらは、目標をそらし、黒を白といいくるめる手口をつかって、運動をまちがった道へ引きいれようとしている。かれらは、ひじょうに孤立し、どうにもならなくなると、一段と陰謀をたくらみ、うしろ弾をうち、デマをとばし、極力革命と反革命の区別をばかして革命派に打撃をあたえている。

各級の党委員会にたいする党中央の要求は、ほかでもなく、正しい指導を堅持し、「敢然」ということをな

よりも念頭におき、思うぞんぶん大衆を立ちあがらせ、軟弱で無力な状態をあらためること、誤りをおかしはしたが改めたいと思っている同志が重荷をおろして、戦闘に参加するようはげますこと、資本主義の道をあゆむ実権派を更迭し、その指導権をプロレタリア革命派の手中に奪いかえすということである。

四、運動のなかで大衆に自分で自分を教育させること

プロレタリア文化大革命では、大衆が自分で自分を解放するしかなく、なにからなにまで一手に引き上げるよ

うなやり方はすべて採用してはならない。
大衆を信頼し、大衆に依拠し、大衆の創意を尊重しなければならない。「恐ろしい」という気持ちを取りのぞかなければならない。騒ぎがおこるのを恐れてはならない。毛主席がつねづねわれわれに教えているように、革命はそんなにお上品で、そんなにみやびやかな、そんなにおだやかでおとなしく、うやうやしく、つつましくひかえ目のものではない。大衆がこの大革命運動のなかで、自分で自分を教育し、なにが正しくて、なにがまちがっているか、どのやり方が正しくて、どのやり方が正しくないかを見わけるようにしなければならない。

大字報や大討論の形式を十分に運用して、大いに意見をのべさせ、それによって、大衆が正しい観点をあきらかにし、誤った意見を批判し、すべての妖怪変化を暴露するようにならなければならない。このようにしてこそ、広はん大衆は闘争のなかで自覚を高め、才能をのびし、是非を見きわめ、敵味方をはっきり区別することができるのである。

五、党の階級路線を断固として実行すること

われわれの敵はだれか。われわれの友はだれか。この問題は革命のいちばん重要な問題であり、文化大革命のいちばん重要な問題でもある。

党の指導部は、左派を見つけ出し、左派の隊列を発展させ、それを拡大することに長じ、断固として革命的左派に依拠しなければならない。こうしてこそ、運動のなかで、もつとも反動的な右派を完全に孤立させ、中間派を獲得し、大多数を団結させ、運動をつうじて、最後には九五パーセント以上の幹部を団結させ、九五パーセント以上の大衆を団結させることができるのである。

力を集中して、ひとにぎりの極反動的ブルジョア右派分子、反革命的修正主義分子に打撃をくわえ、かれらの反党・反社会主義・反毛沢東思想の犯罪行为をあますところなくあばき出し、批判し、かれらを最大限に孤立させることである。

今回の運動の主要な対象は、資本主義の道をあゆむ党内の実権派である。

反党・反社会主義の右派分子と、党と社会主義を擁護してはいるが、若干の誤ったことを言ったことがあるとか、若干の誤ったことをしたことがあるとか、あるいは若干のよくない文章を書き、よくない作品をつくったことがあるとかというものは、厳格に区別するように注意しなければならない。

ブルジョアジーの反動的な学閥、反動的な「権威者」と、一般的なブルジョアの学術思想をもっているものと

は、厳格に区別するように注意しなければならない。

六、人民内部の矛盾を正しく処理すること

人民内部の矛盾か、それとも敵味方の矛盾かという性質のちがった二種類の矛盾を厳格に区別しなければならない。人民内部の矛盾を敵味方の矛盾にしてはならないし、敵味方の矛盾を人民内部の矛盾ととりちがえてもならない。

人民大衆のあいだに異なった意見が存在すること、これは正常な現象である。いく種類かの異なった意見のあいだの論争は、避けられないことであり、必要なことである。有益なことである。大衆は、正常で十分な討論をつうじて、正しいものを確認し、誤ったものを是正し、しだいに一致していくようになる。

討論のなかでは、事実をあげて、道理を説き、道理によつて相手を納得させる方法をもちなければならぬ。異なった意見をもつ少数のものにたいしても、圧力をかけて押えつけるようなやり方をとることはすべて許されない。真理が少数のものにあることもあるのだから、少数のものでも保護する必要がある。少数のものの意見が誤っているとしても、かれらに弁明を許し、自分の意見を留保するのを許すべきである。

討論をおこなうばあいには、道理を説く闘争によるべきであつて、暴力をもちいてはならない。

討論のなかでは、一人びとりの革命家が自分の頭でものを考えることに長じなければならず、大胆に考え、大胆にものをいい、大胆に事をおこなう共産主義的風格を発揚しなければならない。革命的同志は、大きな方向で

一致しているという前提のもとで、枝葉の問題の論争にとめどなく明け暮れるようなことを避け、団結をつよめなければならない。

七、革命的な大衆を「反革命」ときめつける一部のものを警戒すること

一部の学校、一部の部門、一部の工作班の責任者は、かれらのことを書いた大字報をはり出した大衆にたいして反撃を組織し、はなはだしいばあいには、その部門あるいは工作班の指導者に反対することは、党中央に反対することであり、反党・反社会主義であり、反革命であるなどというスローガンさえうちだしている。かれらがこのようなことをすれば、一部の真に革命的な積極分子に打撃をあたえるようになるのは必至である。これは方向の誤りであり、路線の誤りであつて、このようなことをするのは絶対に許されない。

一部のひどく誤つた思想をもっている人たちは、はなはだしいばあいには一部の反党・反社会主義の右派分子は、大衆運動のなかのいくらかの欠陥や誤りにつけこんで、根も葉もないデマやうわさをまきちらし、扇動をおこない、意識的に一部の大衆を「反革命」ときめつけている。火事場どろぼうに気をつけ、かれらのもてあそんでいるこの手口をいちはやく摘発しなければならない。

運動のなかでは、殺人、放火、毒物散布、破壊活動、国家機密の窃取など、確証のある反革命分子の現行犯を法律にもとづいて処分しなければならないが、そのほか、大学、専門学校、中学校、小学校の学生・生徒のあいだに存在する問題は、いつさい、取りあげないことにする。闘争の主要な目標をそらさないようにするため、大衆をそそのかしてたがいにたたかわせたり、学生をそそのかしてたがいにたたかわせたりすることは、どのよう

な口実をもつてしても許されない。真の右派分子であつても、やはり運動の後期になつてから事情を考慮したうえ処理しなければならない。

八、幹部の問題

幹部ははぼつぎの四種類に分けられる。

- (一) よい幹部。
- (二) 比較的よい幹部。
- (三) 重大な誤りをおかしてはいるが、まだ反党・反社会主義の右派分子ではない幹部。
- (四) 少数の反党・反社会主義の右派分子。

一般的な状況のもとでは、さいしよの二種類の人びと（よい幹部、比較的よい幹部）が大多数を占めている。反党・反社会主義の右派分子にたいしては、ぞんぶんにあばき出し、闘争によつてうち倒し、闘争によつてたたくつぶし、闘争によつて鼻持ちならないものにし、かれらの影響を一掃するとともに、また、かれらに活路をあたえて、もういちど生まれかわらせるようにしなければならない。

九、文化革命班、文化革命委員会、文化革命代表大会

プロレタリア文化大革命の運動のなかで、多くの新しい事物がつきつきとあらわれはじめている。多くの学

校、多くの部門で大衆が新しくつくり出した文化革命班、文化革命委員会などの組織形態は、偉大な歴史的意義をもつ新しい事物である。

文化革命班、文化革命委員会、文化革命代表大会は、大衆が共産党の指導のもとに自分で自分を教育するもつともすぐれた、新しい組織形態である。それは、わが党が大衆と密接にむすびつく、もつともよいかけ橋である。それはプロレタリア文化革命の権力機構である。

プロレタリアートが、過去数千年来すべての搾取階級の残してきた旧思想、旧文化、旧風俗、旧習慣とたたかうには、じつに長い長い期間をかけなければならない。したがって、文化革命班、文化革命委員会、文化革命代表大会は、臨時的な組織であってはならず、長期にわたる常設の大衆組織でなければならない。それは学校や機関に適するばかりでなく、工・鉱業企業、町内組織、農村にも基本的に適するものである。

文化革命班と文化革命委員会の成員、文化革命代表大会の代表を選出するには、パリ・コンミュンのように、全面的な選挙制をとらなければならない。候補者の名簿は、革命的な大衆が十分に下相談したうえで提出し、さらに大衆がくりかえし討論したのち、選挙をおこなわなければならない。

当選した文化革命班と文化革命委員会の成員、文化革命代表大会の代表にたいしては、大衆はいつでも批判をくわえることができる。もしその職にふさわしくないものがあれば、大衆が討論したうえで、改選あるいは、更迭することができる。

学校のなかの文化革命班、文化革命委員会、文化革命代表大会は、革命的學生を主体とすべきであるが、同時にまた、一定数の革命的教員、労働者、職員代表を参加させなければならない。

十、教育改革

ふるい教育制度を改革し、ふるい教育方針、教育方法を改革することは、このプロレタリア文化大革命のきわめて重要な任務のひとつである。

この文化大革命のなかでは、ブルジョア知識人がわれわれの学校を支配するような現象を徹底的にあらためなければならぬ。

各種の学校のなかでは、かならず毛沢東同志の提起した、教育はプロレタリアートの政治に奉仕し、教育を生産労働に結びつけるという方針を貫徹し、教育をうけるものが徳育、知育、体育のそれぞれの面で成長し、社会主義的自覚をもつ、教養のある勤労者になるようにしなければならない。

修学期間は短縮しなければならない。課目は精選しなければならない。教材は徹底的に改善しなければならない。あるものはまず繁雑なものを簡素化することから手をつけなければならない。學生は學業を主とし、あわせて他のものを学ばなければならない。つまり、學業にはげむだけでなく、工業、農業、軍事も学ばなければならない。また、いつでもブルジョアジーを批判する文化大革命の闘争に参加しなければならない。

十一、新聞・雑誌で名指しの批判をする問題

文化大革命の大衆運動をおしすすめるばあいには、プロレタリアートの世界観をおしひろめること、マルクス・

レーニン主義、毛沢東思想をおしひろめることを、ブルジョア思想、封建階級の思想を批判すること、うまく結びつけなければならない。

党内にもぐりこんだ典型的なブルジョア思想の代表者と典型的なブルジョア思想の反動的学術「権威者」にたいする批判を組織しなければならない。そのなかには、哲学、歴史学、政治経済学、教育学、文学・芸術作品、文学・芸術理論、自然科学理論などの戦線におけるさまざまな反動的観点への批判がふくまれる。

新聞・雑誌で名指しの批判をするばあには、同じ級の党委員会での討論を経なければならず、あるばあには上級の党委員会に報告して承認をえなければならない。

十二、科学者、技術者および一般要員についての政策

科学者、技術者および一般要員にたいしては、かれらが愛国的で、積極的に仕事をし、党と社会主義に反対せず、外国に内通しないものであるかぎり、こんどの運動では、ひきつづき団結、批判、団結の方針をとるべきである。功績のある科学者と科学技術要員は、これを保護しなければならない。かれらの世界観と作風にたいしては、それを一步一步と改造していくよう、かれらに援助をあたえるべきである。

十三、都市、農村の社会主義教育運動と結びつける按配の問題

大・中都市の文化教育部門と党・政府指導機関は、当面のプロレタリア文化革命運動の重点である。

文化大革命によって、都市と農村の社会主義教育運動はいつそうゆたかになり、いつそう高まった。かならず両者を結びつけておしすすめなければならない。各地区、各部門は具体的状況にもとづいて按配してよい。

農村と都市の企業体で社会主義教育運動をおこなっているところでは、もし当初の按配が適しており、またりっぱにやられているなら、それをかき乱してはならず、これまでの按配をつづけるべきである。だが、当面のプロレタリア文化大革命の運動で提起された問題は、適当な時期に大衆のあいだに持ちこんで討議させ、それによって、いちだんとプロレタリア思想を大いにおこし、ブルジョア思想を大いにほろぼすようにしなければならぬ。

あるところでは、プロレタリア文化大革命を中心として、社会主義教育運動をおしすすめ、政治を清め、思想を清め、組織を清め、経済を清めている。もしその党委員会が適当だと考えるなら、そうしたやり方でもよい。

十四、革命に力をいれ、生産をうながすこと

プロレタリア文化大革命は、人の思想を革命化させるためのものであって、それによって、それぞれの仕事が多くなり、より早く、よりりっぱに、よりむだなくおこなわれるようになる。大衆を十分に立ちあがらせ、適切に按配しさえすれば、文化革命と生産の両者をともに手間どらせず、それぞれの仕事での高い質を保証することができる。

プロレタリア文化大革命は、わが国の社会的生産力を発展させる強大な推進力である。文化大革命を生産の発展と対立させるような考え方は正しくない。

十五、部隊

部隊での文化革命運動と社会主義教育運動は、中央軍事委員会と総政治部の指示にしたがっておこなう。

十六、毛沢東思想はプロレタリア文化大革命の行動の指針である

プロレタリア文化大革命では、毛沢東思想の偉大な赤旗を高くかかげ、プロレタリアートの政治による統率を実行しなければならない。広はんな労働者・農民・兵士、広はんな幹部、広はんな知識人のあいだで、毛主席の著作を実際と結びつけて学び、運用する運動をくりひろげ、毛沢東思想を文化革命の行動の指針としなければならない。

各級の党委員会は、このようにいりくだ複雑な文化大革命のなかで、いちだんと真剣に毛主席の著作を実際と結びつけて学び、運用しなければならない。とくに、文化革命と党の指導方法にかんする毛主席の著作、たとえば『新民主主義論』、『延安の文学・芸術座談会における講話』、『人民内部の矛盾を正しく処理する問題について』、『中国共産党全国宣伝工作会议における講話』、『指導方法の若干の問題について』、『党委員会の

工作方法』をくりかえし学習しなければならない。

各級の党委員会は、毛主席の従来からの指示をまもり、大衆のなかから大衆のなかへという大衆路線をつらぬき、まず学生となつてから、そのあとで先生となるようにしなければならない。一面性や局限性をさけるようつとめなければならない。唯物弁証法を提唱し、形而上学とスコラ哲学に反対しなければならない。

毛沢東同志を先頭とする党中央委員会の指導のもとで、プロレタリア文化大革命はかならず偉大な勝利をおさめるであろう。

毛主席、百万の大衆とともに文化大革命を祝う

(一九六六年八月十八日)

われわれの偉大な指導者、偉大な統帥者、偉大な舵手毛主席は、きょう、北京と全国各地からやって来た百万の革命的大衆とともに、プロレタリア革命の中心地、われわれの偉大な祖国の首都北京の雄大な天安門広場で、プロレタリア文化大革命を祝う大会をひらいた。

午前五時、太陽が東の地平線にさんざんと光を放ちはじめたとき、毛主席は怒とうのような人の群、林のような赤旗にうずまった天安門広場に姿をあらわし、四方八方からここに集まってきた革命的大衆と会見した。毛主席はカーキ色の軍服を着ていた。主席の軍帽には赤い星が輝いていた。毛主席は天安門の前の金水橋を渡ると、そのまま大衆の隊列のなかに歩みより、周囲にいた大勢の人びととかく握手をし、全会場の革命的大衆に手をふってあいさつをした。この時、広場は沸きたち、人びとは両手を頭上高くあげて、毛主席の方を向いておどりがり、歓呼の声をあげ、拍手をおくった。多くの人は手のひらが真っ赤になるまで拍手をし、また、多くの人は感激の涙を流した。かれらはよろこびにあふれて、「毛主席が来られた！毛主席がわれわれのところへ来られたのだ！」と叫んだ。広場では、大衆が声をかぎりに、「毛主席万歳！万歳！万万歳！」と叫んだ。歓呼の声は一波一波と高まり、首都の空をゆるがした。

われわれの偉大な指導者毛主席は、この日の午前、まる六時間余りをずつと百万の革命的大衆とともに過ごした。百万のプロレタリア文化革命の大部隊の祝賀デモ行進を檢閲するとき、毛主席は林彪同志と肩をならべて天安門の楼の上に立ち、堂々と前進するデモ行進の隊列を見まもりながら、よろこばしげに林彪同志に、「この運動は規模がひじょうに大きく、たしかに大衆を立ちあがらせており、全国人民の思想の革命化にとってひじょうに大きな意義をもっている」と語った。

赤い腕章をつけた数万の「紅衛兵」たちの、さっそうとした、活発な姿が、全会場の注目をあびた。「紅衛兵」とは、首都北京の大学生、中学生たちがプロレタリア文化大革命の運動のなかでつくりあげた革命的大衆組織であり、かれらは、一生涯毛主席を守り、中国共産党を守り、祖国を守る赤色の先兵となる決意を表明している。天安門の城楼や城楼の両側の観覧台には、「紅衛兵」の代表がぎっしりと立ちならんでいた。天安門の城楼、天安門広場、広場の両側の、東、西長安街では、この日、威武堂々とした「紅衛兵」たちが会場の秩序維持にあたっていた。

大会の最中に、北京師範大学付属女子中学のある「紅衛兵」が天安門の城楼にのぼり、毛主席に「紅衛兵」の腕章をつけた。毛主席は親しみをこめて、この「紅衛兵」と握手した。城楼の上下に立ちならんでいた「紅衛兵」は、このうえなくよろこび、あるものは高くとびあがり、ひじょうな感激を示しながら、「毛主席は統帥者で、わたしたちは毛主席の一兵卒です」と語った。また、あるものは、「毛主席がわたしたちの『紅衛兵』に加わってくれたことは、わたしたちにとって最大の支持であり、はげまします。毛主席がわたしたちの後押しをしてくださった以上、わたしたちはなにも恐れませんが」と語った。

千五百名の学生代表が、天安門の城楼にのぼり、党と国家の指導者とともに大会に参加した。毛主席と林彪、周恩来、江青らの諸同志がつぎつぎと何回かに分けてかれらと会見し、話しあい、また、かれらといっしょに写真をとった。毛主席が会見しているとき、感激した学生たちは敬愛する毛主席をとりまき、ひっきりなしに「毛主席万歳！」と声高く叫んだ。

午前七時半、祝賀大会がはじまった。《東方紅》の曲がかなでられるなかを、毛主席と林彪らの諸同志が天安門の城楼に姿をあらわした。この時、全会場の大衆はよろこびにおどり上がり、赤いカパーの『毛主席語録』を高くさしあげた無数の手が天安門に向かって伸び、百万の火ともえる心が毛主席に向かってよせられ、百万の革命的熱情をこめた目が毛主席をおおぎ見た。敬愛する毛主席が質素な木綿の軍服を着ているのを見て、人びとはいっそう大きな感激にうたれた。かれらは、「軍服を着ておられる毛主席にわたしたちはいっそう親しみを覚えます。毛主席は永遠にわたしたちとともにたたかっておられるのです」と語った。また、ある人は、「毛主席のような最高の統帥者をもっていることに、わたしたちはこのうえない幸福を感じています。わたしたちは、一生涯毛主席のりっぱな戦士となり、一生涯毛主席にしたがって革命をやりぬく決意です」とのべた。

祝賀大会は、中国共産党中央委員会政治局委員・中央文化革命小組組長陳伯達同志によって司会された。陳伯達同志は開会のあいさつのなかで、「われわれの偉大な指導者、偉大な教師、偉大な舵手毛主席が、きょう、ここでみなさんと会われることになりました。（大衆は毛主席に向かって熱烈に歓呼）毛主席はつねに大衆とともにおられます。主席の心は、永遠に大衆に向かっています。われわれの今回のプロレタリア文化大革命は、毛主席がみずから指導されているものです。きょう、主席がみなさんと会われたことは、われわれを大いにはげ

まし、文化大革命を大いに推進することでしょう」とのべた。

つづいて、林彪同志が全会場にひびきわたるあらしのような拍手のなかであいさつをのべた。(全文は本書三五ページを参照)

そのあと、周恩来同志が大会であいさつをおこなった。(全文は本書四七ページを参照)

林彪同志と周恩来同志があいさつをしているあいだ、広場の百万の大衆は、くりかえしくりかえし腕をふりあげて、「プロレタリア文化大革命万歳!」「偉大な中国共産党万歳!」「偉大な毛沢東思想万歳!」「偉大な指導者毛主席万歳! 万歳! 万万歳!」と高らかに叫んだ。

北京大学の代表聶元梓さんや北京、ハルビン、長沙、南京など各地の大学生、中学生たちが、あいついで大会であいさつをのべた。かれらは偉大な指導者毛主席への、このうえなく深く、このうえなくひたむきな感情を胸いっぱいにいだし、かならずプロレタリア文化大革命を最後までやりぬくという全国何百万何千万の革命的教員・学生の鋼鉄のような意志を胸いっぱいにいだいて、毛沢東思想をうけつぎ、伝えていく決意を表明し、われわれの難攻不落の社会主義の国家を永遠に変色させないと誓った。かれらはこう語った。

「われわれの国家ではいま、偉大な指導者毛主席の指導のもとで、史上かつてないプロレタリア文化大革命がおしすすめられています。これは世界的な意義をもった革命です。われわれはかならずふるい世界をうちくだし、新しい世界をつくりあげ、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめます」

「大海を航行するには舵手にたよらなければならず、万物が生長するには太陽の光が必要です。革命をやるには毛沢東思想にたよらなければなりません。わたしたちは、もつとも、もつとも敬愛する偉大な指導者毛主席の

長寿を心からいのつています。わたしたちはかならず毛主席の話を聞き、国家の大事に関心をもち、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめます。わたしたちはかならず、毛主席の教えにしたがつて、あれ狂うあらしのなかで、風雨にさらされ、広い世間を知り、プロレタリア革命事業のもつとも信頼できる後継者になります」

「毛主席はわたしたちの心のなかの、もつとも、もつとも赤い太陽です。中国人民の革命は、これまで風波のたたない平穩なものではありませんでした。わたしたちは毛主席の教えを深く心にきざみ、あれ狂うあらしのなかで、みずからを鍛え、みずからをためさなければなりません。わたしたちは、死を賭しても党中央を守り、毛主席を守ります。わたしたちの前には針の山や火の海が横たわっていますが、毛沢東思想の光り輝く燈台も立っているのです。毛沢東思想にみちびかれてわたしたちはかならず勝利をかちとります」

「毛主席はわたしたちともにおられます。これはわたしたちの一生のうちで、もつとも大切な、もつともしあわせなときです。わたしたちは一生涯毛主席の著作を読み、毛主席の話を聞き、毛主席の指示どおりに事をはこび、毛主席のりっぱな学生になります」

各地からやってきた革命的学生の革命的熱情にあふれたあいさつは、天安門広場にあらしのような長い拍手をまきおこした。

祝賀大会の終了後、百万の大衆からなるプロレタリア文化革命の大部隊は、堂々と天安門広場を行進し、偉大な指導者毛主席の検閲をうけた。首都と全国各地からやってきた大学、中学校の革命的教員・学生、首都の労働者、農民、人民解放軍指揮員・戦闘員、機関幹部は、闘志にあふれ、意気はつらつと元気いっぱい、天安門広

場を通り過ぎた。かれらはそこで毛主席と党中央にたいし、断固として、党中央のプロレタリア文化大革命について、プロレタリア文化大革命を擁護し、党の八期十二中総の公報を擁護すること、かならずプロレタリア文化大革命の猛将となつて、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめ、社会主義革命を最後までおしすすめることを表明した。

毛主席と林彪、周恩来らの諸同志は、天安門の楼の上に立って、デモ行進の隊列を檢閲し、百万の革命的大衆に向かつてたえず手をふり、あいさつをおくった。祝賀のデモ行進がおこなわれているあいだ、毛主席と林彪らの諸同志はずつと天安門の楼の上に立ち、なん度もなん度も広場の百万の革命的大衆に拍手をおくった。百万の大衆は、大海を航行するには舵手にたよるをくりかえし歌い、「毛主席万歳！ 万歳！ 万万歳！」をいく度もいく度も声をかぎりに叫んだ。

この大衆集会にはなお、つぎの各方面の責任者、陶铸、鄧小平、康生、劉少奇、朱德、李富春、陳雲、董必武、陳毅、賀龍、李先念、譚震林、徐向前、葉劍英、薄一波、李雪峰、謝富治、劉寧一、蕭華、楊成武、江青、王任重、吳德、吳玉章、蔡暢、徐特立、鄧穎超、廖承志らが参加した。（新華社発）

毛主席、五十万の紅衛兵、革命的教員・学生と会見

（一九六六年八月三十一日）

プロレタリア文化大革命の偉大な統帥者、われわれの偉大な教師、偉大な指導者、偉大な舵手毛主席は、中央のその他の指導的な同志とともに、きょう午後、首都の壮大な天安門広場で、全国各地と首都の、五十万にのぼる紅衛兵、革命的教員・学生と会見した。

毛主席とその親密な戦友林彪同志、および周恩来、陶铸、鄧小平、康生、劉少奇、朱德、李富春、陳雲、董必武、陳毅、賀龍、李先念、譚震林、聶榮臻、葉劍英、ウランフ、薄一波、李雪峰、謝富治など中央のその他の指導的な同志は、わが国のプロレタリア文化大革命が新たな高まりをむかえるにあたって、革命的小勇將たちと親しく会見し、かれらの高揚した戦闘的意志をこのうえなくふるいたさせた。全国各地から来た紅衛兵と革命的教員・学生は、党中央と毛主席に、つぎのようにおごそかに誓った。われわれは断固として毛主席の話を聞く、解放軍を手本とし、党中央の十六カ条にもとづいて事をはこび、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめる決意である、と。

この日、天安門広場では、無数の赤旗が風にひるがえり、赤い腕章をつけた何十万という紅衛兵が、赤いカバ

の『毛主席語録』を高くさしあげながら、大海を航行するには舵手にたよるをくりかえしなどの革命歌を声高らかにう

たった。広場全体が喜びに沸きたつ赤い大海原となった。

午後五時四十分、われわれのもつとも、もつとも敬愛する指導者毛主席は、その親密な戦友林彪同志、および賀龍同志とともに、謝富治、楊成武同志の同伴で、オープンカーに乗り、天安門広場をうずめつくした紅衛兵と革命的教員・学生のなかに来た。このとき、広場にはこのうえない喜びの大波が沸きおこり、人びとは毛主席に向かつて、声をかぎりに歓呼し、おどろがあがった。毛主席の車が徐行しながら広場を回ると、深い感情をたたえた何十万のひとみが毛主席に向かつてそがれ、何十万の革命の赤い心が赤い太陽に向けられた。「毛主席万岁」「毛主席万万歳」という歓呼の声は大空にこだました。

カーキ色の軍服を着けた毛主席は、つややかな顔色、元氣いっばいの面持でたえず紅衛兵と革命的教員・学生に手をふってあいさつした。

毛主席の車の後には、周恩来、陶铸、聶荣臻、江青同志の乗る車、鄧小平、康生、劉少奇、陳毅同志の乗る車、朱德、李富春、陳雲、董必武同志の乗る車、葉劍英、蕭華、王任重、劉志堅、張春橋同志の乗る車がそれぞれつづいた。そして楊勇、廖漢生、傅崇碧、呉德、周榮鑫、于桑同志の乗る車が、毛主席と中央のその他の指導的な同志の先導をつとめた。

毛主席は中央のその他の指導的な同志とともに車で広場をひとまわりしたのち、**東方紅**がかなでられるなかを天安門の楼上にのぼった。このとき、招請をうけて天安門の楼上にのぼっていた、全国各地からやってきた革命的少勇将たちと首都の革命的少勇将たち三百余名は、毛主席に向かつて熱烈な歓呼の声をあげ、毛主席の長寿を心から祈った。かれらはまた毛主席に赤いネッカチーフと紅衛兵の腕章をつけた。

六時四十分、中央文化革命小組第一副組長江青同志が、地方から北京にやってきた革命的教員・学生と会見するための大会の開会を宣言した。江青同志は中央文化革命小組を代表して、みんなにあいさつをおくり、わたしたちはあなたがたを心から歓迎し、あなたがたに革命的敬意を表します、とのべた。

林彪同志は満場の、鳴りやまぬあらしのような拍手のなかであいさつをのべた。(全文は本書三九ページ参照)

つづいて、周恩来同志があいさつをおこなった。(全文は本書五〇ページ参照)

また、首都の革命的な学生もこの大会であいさつをし、全国各地から来た革命的な戦友に熱烈な歓迎の意を表わした。

華東、東北、華北、中南、西南、西北などの各地区から来た革命的な学生が会場でつぎのようなあいさつをのべた。

「わたしたちは、敬愛する指導者毛主席のそばにやってきたことをこのうえなく仕合せに思っています。わたしたちは、首都の紅衛兵に学ぶために、また、その経験を学ぶためにやってきたのです。わたしたちは首都の紅衛兵のみなさんの、大胆に考え、大胆にものを言い、大胆に行動し、大胆に突進し、大胆に革命をやる、恐れを知らない革命的精神をたずさえて帰り、毛沢東思想の革命の烈火を全中国に燃えひろがらせる決意です」

「偉大な舵手毛主席がわたしたちのためにかじをとり、輝かしい毛沢東思想がわたしたちの前進する道を照らしているのです、わたしたちはなにも恐れませんが、わたしたちは自分たちの手でまったく新しい世界をきりひらく確信を完全にもっており、その決意に燃えています。わたしたちは今回のプロレタリア文化大革命を通じて、わが国における修正主義の根を掘りくずし、わたしたちの愛する祖国が永遠に、永遠に真紅の色を保ちつづ

けるようにしなければなりません」

「紅衛兵戦士の旗はあざやかな赤い色であり、腕章はあざやかな赤い色です。そしてわたしたちの心もあざやかな赤い色です。わたしたちはかぎりない忠誠心をもって、永遠に、党にしたがい、毛主席にしたがって、革命をやり、最後までやりぬきます」

「わたしたち紅衛兵は毛主席の話をもっともよく聞きます。わたしたちは解放軍に学ぶことに努力しなければなりません。真剣に十六カ条を学び、十六カ条を熟知し、十六カ条を運用し、道理を説く闘争を堅持しなくてはならず、暴力をもちいてはなりません。わたしたちは、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめることを誓います」

夜に入ると、天安門の城楼と広場のまわりの建物はあかあかと燈火で輝いた。毛主席は群衆の歓呼のなかを天安門の楼上の東の端と西の端にすすみ、ふたたび手をふってあいさつをした。「プロレタリア文化大革命万岁！」「中国共産党万岁！」「無敵の毛沢東思想万岁！」「毛主席万岁！」と叫ぶ声が首都の夜空にとどろきわたった。

わが国を訪問中のベルギー共産党中央委員会書記ヤーク・グリッパ氏と同夫人マドレーヌ・グリッパ女史が招かれてこの大会に列席した。毛主席は天安門の楼上でグリッパ夫妻となごやかに会見した。

この大会にはなお、各方面の責任者、劉寧一、蔡暢、鄧穎超、廖承志らが参加した。(新華社発)

毛主席、また百万の革命的小勇将と会見

(一九六六年九月十五日)

われわれの偉大な指導者、偉大な教師、偉大な統帥者、偉大な舵手毛主席は、きょうの午後、また、プロレタリア文化大革命の中心地——わが偉大な祖国の首都北京の壮大な天安門広場で、全国各地と首都の百万の紅衛兵、革命的教員・学生と会見した。

きょう、首都の上空は果てしなく澄みわたっていた。全国各省、市、自治区と首都北京の大学、中学校の革命的小勇将たちは、朝はやくから、毛主席の写真、毛主席のことを書いたプラカード、無数の赤旗を高くかかげて、意気はつらつと、四方八方から天安門広場と東長安街、西長安街の幅広い大通りにつめかけた。広場では、赤旗がへんばんとひるがえり、革命的気概にあふれた豪快な歌声が一波また一波と高まり、燃える百万の胸がはげしく躍動し、深い感情をたたえた百万のひとみが天安門をおおぎみ、もつとも幸福な時刻の到来を待ちのぞんでいた。

午後五時十五分、われわれの偉大な指導者毛主席は、親密な戦友林彪同志はじめ周恩来、陶铸、陳伯達、鄧小平、康生、劉少奇、朱德、李富春、陳雲、董必武、陳毅、劉伯承、賀龍、李先念、譚震林、徐向前、聶榮臻、葉劍英、李雪峰、謝富治など中央のその他の指導的な同志とともに、△東方紅△がかなでられるなかを天安門の楼

上にのぼった。このとき、広場全体は喜びにわきかえった。百万の手でくりかえしあげられる真つ赤な「毛主席語録」はさん然とかがやく太陽の光に照らされて、まるで赤い大波のさかまく大海原のようだった。「毛主席万歳」「毛主席万万歳」の歓呼の声がひっきりなしに首都の大空にこだました。

全国各地からやってきた革命的学生の代表三百余名も天安門の樓上にのぼった。かれらは毛主席のそばで、感激のあまり、歓呼の声をあげ、おどろあがった。

中国人民解放軍の大学・専門学校の一万の革命的教員・学生は、英雄的な紅衛兵とともに、偉大な統帥者毛主席の検閲をうけた。

中国共産党中央委員会政治局常務委員・中央文化革命小組顧問康生同志が、大会の開会を宣言した。康生同志はつぎのようにのべた。わたしは中央文化革命小組を代表して、みなさんを歓迎し、みなさんにあいさつをおくりします。そしてみなさんに、またみなさんを通じて全国各地の学校の革命的教員・学生・職員・労働者にプロレタリア文化革命の戦闘的なあいさつをおくりします。康生同志はまたつぎのようにのべた。わたしたちの偉大な指導者毛主席がわたしたちと会見するためにこられています。わたしたちは声高らかに叫びましょう。「無敵の毛沢東思想万歳！毛主席万歳！」

林彪同志は、全会場のあらしのような拍手のなかで、全国各地から北京にやってきた革命的教員・学生と紅衛兵戦士にあいさつをおこなった。（全文は本書四三ページ参照）

つづいて、周恩来同志があいさつをおこなった。（全文は本書五四ページ参照）

首都の紅衛兵代表は、あいさつのなかで、全国各地からやってきた革命的な戦友を熱烈に歓迎し、文化大革命

のなかで、かれらといっそうしっかりと支持しあい、助けあい、学びあうことを表明した。

華北、西南、華東、東北、西北、中南地区からやってきた革命的な学生代表は、会場でこう語った。

「わたしたちの偉大な指導者毛主席にお会いしたいというわたしたちの長いあいだの願いが、きょうとうとう実現しました。これはわたしたちにとってもっとも大きな幸福です」

「わたしたち各民族人民は、いつまでも毛主席を熱愛し、毛主席の話を聞き、毛主席にしたがって革命をやります。わたしたちは、偉大な中国共産党とわたしたちのもっとも敬愛する指導者毛主席がわたしたちによせてくださったこのうえない関心と配慮を永遠に忘れません」

「わたしたちは革命をおしすすめる次の世代であり、人民の息子です。わたしたちは階級闘争のあらしのなかで鍛えられ、成長しなければなりません。わたしたちはいつまでも毛主席に忠実であり、毛沢東思想に忠実であり、党に忠実であり、人民に忠実であります。偉大な指導者毛主席、わたしたちはかならずあなたについて、あれくるうあらしのなかをつき進み、泳ぐなかで泳ぎを覚え、革命のなかで革命を学びます。大胆に闘争をし、大胆に革命をやり、上手に闘争をし、上手に革命をやる猛将となることを誓います」

「わたしたちはかならず毛沢東思想の偉大な赤旗を高くかかげて、北京の革命闘争の経験をもちかえり、なにごとをするにも毛主席の指示にしたがってやり、十六カ条にしたがってやり、プロレタリアートの革命的な謀反の精神を発揚し、断固として、資本主義の道をあゆむ実権派をうち倒し、すべての妖怪変化を一掃し、自分のところのプロレタリア文化大革命をりっぱにおしすすめ、修正主義の根を徹底的に掘りくずすことを決意します」

大会のあいさつが終わると、毛主席は群衆の熱烈な歓呼の声のなかを、天安門の樓上の東と西の端に歩みよ

り、なんどもみんなに手をふってあいさつをした。毛主席は天安門の楼上の東と西の露台で、全国各地からやってきた革命的な学生代表三百余名と会見し、かれらといっしょに写真をとった。

夜に入ると、天安門の城楼と広場の周囲にいっせいに燈がともった。天安門広場にいた数十万の革命的な学生は、広場の東側と西側にいた、毛主席に一目会いたいと願う数十万の革命的な小勇将たちを広場に入れるために、大会の指揮にしたがって秩序ただしく南へ移動した。

八時三十分、われわれの偉大な指導者毛主席は、親密な戦友林彪同志はじめ中央のその他の指導的な同志たちとともに、ふたたび天安門の楼上に姿をみせた。毛主席は、広はんな革命的な教員・学生にたえず手をふってあいさつをした。毛主席は、あらしのような拍手と歓呼の声のなかを、林彪同志ならびに中央のその他の指導的な同志たちとともに、ふたたび天安門の楼上の東と西の端に歩みより、広はんな革命的な小勇将と会見した。このとき、「偉大な指導者毛主席万歳、万万歳」という歓呼の声が首都の夜空をふるわし、広場全体に祝日を思わせる情景があらわれ、百万の革命的な小勇将たちをかぎりない喜びと幸福のふん囲気のなかに包んだ。

この大会には、わが国を訪問中のオーストラリア共産党（マルクス・レーニン主義者）主席 A・F・ヒル氏と同夫人 G・ヒル女史が招かれて列席した。毛主席は天安門の楼上でヒル夫妻となごやかに会見した。

この大会にはまた各方面の責任者、劉寧一、蕭華、楊成武、江青、王任重、呉徳、蔡暢、鄧穎超、廖承志らが参加した。（新華社発）

プロレタリア文化大革命を祝う

大衆集会での林彪同志のあいさつ

（一九六六年八月十八日）

同志のみなさん、学生のみなさん

わたしはまず、わたしたちの偉大な指導者毛主席に代わって、みなさんにあいさつをおくりします。また、わたしは党中央を代表して、みなさんにあいさつをおくりします。

わたしたちは、あなたがたの、敢然と突進し、敢然と行動し、敢然と革命をおこない、敢然と謀反を起こすプロレタリアートの革命的な精神を、断固として支持します。

今回のプロレタリア文化大革命の最高司令官はわたしたちの毛主席です。毛主席が統帥者です。わたしたちが偉大な統帥者の指揮のもとに、わたしたちの統帥者——毛主席の話をよく聞いたら、文化大革命はかならず順調に発展し、かならず偉大な勝利をかちとることができるにちがありません。

毛主席の提起したプロレタリア文化大革命は、共産主義運動におけるはじめての偉大な壮挙であり、社会主義革命のはじめでの偉大な壮挙であります。

プロレタリア文化大革命は、ブルジョア思想を消滅し、プロレタリア思想をうち立て、人の魂を改造し、人の

思想の革命化を実現し、修正主義の根をとりぞき、社会主義制度を強化し、発展させるものなのです。

わたしたちは資本主義の道をあゆむ実権派をうち倒し、ブルジョアジーの反動的な権威者をうち倒し、すべてのブルジョア王党派をうち倒し、革命に圧迫をくわえる種々さまざまな行為とたたかい、あらゆる妖怪変化をうち倒さなければなりません。

わたしたちは、搾取階級のあらゆる旧思想、旧文化、旧風俗、旧習慣を大いにうちこわし、社会主義の経済的土台に適応しないあらゆる上部構造を改革しなければなりません。わたしたちは、すべての害虫を退治し、すべての足手まといをとりぞかなければなりません。

わたしたちは、プロレタリアートの権威を大いにうち立て、プロレタリアートの新思想、新文化、新風俗、新習慣を大いにうち立てなければなりません。ひと言でいえば、毛沢東思想を大いにうち立てなければならぬということです。わたしたちは、なん億という人民に毛沢東思想を掌握させ、毛沢東思想にあらゆる思想の障地を占領させ、毛沢東思想によって社会全体の精神的様相をあらため、毛沢東思想という偉大な精神的力が偉大な物質的力に変わるようにしなければなりません。

今回の文化大革命は、わたしたちの党と国家の運命にかかわる大きな出来事であり、わたしたちの党と国家の前途にかかわる大きな出来事であり、わたしたちの党と国家の運命にかかわる大きな出来事であり、わたしたちの党と国家の

この文化大革命をりっぱにやりとげるために、わたしたちはなににたよるのでしょうか。偉大な毛沢東思想にたより、大衆の知恵と力にたよるのです。

毛主席は、現代におけるプロレタリアートのもつともすぐれた指導者であり、現代におけるもつとも偉大な天

才であります。毛主席は、もつとも大衆を信頼し、もつとも大衆に関心をよせ、もつとも大衆の革命運動を支持しており、毛主席の心は革命的大衆の心とかく結びついています。

毛沢東思想は、マルクス・レーニン主義の発展におけるまったく新しい段階であり、現代最高の水準のマルクス・レーニン主義であり、人びとの魂を改造する現代のマルクス・レーニン主義であり、プロレタリアートのもつとも強力な思想的武器であります。

人民大衆は歴史の創造者です。人民大衆は毛沢東思想を掌握すれば、もつとも聡明で、もつとも勇敢になり、限らない力を発揮することができます。

わたしたちは、毛主席のすぐれた指導をうけ、毛沢東思想というこのもつとも鋭い武器を掌握すれば、あらゆる障害をとりぞき、すべての敵にうち勝ち、プロレタリア文化大革命の完全な勝利をからとることができるのです。

最近、党中央が公布した『プロレタリア文化大革命についての決定』は、偉大な指導者毛主席がみずから中心となって制定したものであり、プロレタリア文化大革命の偉大な綱領であり、毛沢東思想の最新の具体的あらわれであります。わたしたちは、かならず断固としてこの決定どおりに事をほこび、思いきって大衆をたちあがらせ、なにもかもひきうけて代行することにあくまで反対し、確固として革命的左派に依拠し、中間派を獲得し、大多数の人びとと団結し、力を集中して、ひとにぎりのもつとも反動的な右派に打撃をあたえ、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめなければなりません。

文化大革命は長期の任務です。その間には、大きな戦役もあれば、小さな戦役もあり、それはひじょうに長い

期間にわたってつづけられるでしょう。ブルジョア思想が存在する限り、わたしたちはどこまでも戦わなければならず、最後まで戦いつづけなければなりません。

今回は大きな戦役であり、ブルジョアジーおよびあらゆる搾取階級思想にたいする総攻撃です。わたしたちは、毛主席の指導のもとに、ブルジョア・イデオロギーや旧風俗、旧習慣の力にたいして、猛烈な攻撃をくりひろげなければなりません。また、反革命修正主義分子、ブルジョア右派分子、ブルジョアジーの反動的な権威者を徹底的にうち倒し、たたきつぶし、かれらの威風をうちほらい、永久にたちあがれないようにしなければなりません。

プロレタリア文化大革命万歳！

偉大な中国人民万歳！

偉大な中国共産党万歳！

偉大な毛沢東思想万歳！

偉大な指導者毛主席万歳！ 万歳！ 万万歳！

各地から北京にやってきた革命的教員・学生と

会見するための大会における林彪同志のあいさつ

(一九六六年八月三十一日)

同志のみなさん、学生のみなさん、紅衛兵戦士のみなさん

わたしは、わたしたちの偉大な教師、偉大な指導者、偉大な統帥者、偉大な舵手毛主席に代わって、各地から来られた学生のみなさんにあいさつをおくりします。参会者のみなさんにあいさつをおくりします。わたしはまた、党中央を代表してみなさんにあいさつをおくりします。

学生のみなさん、あなたたちは北京に来て、北京の革命的教員・学生と、文化大革命の経験を交流しました。みなさん、ご苦労さまでした。わたしたちは、みなさんが帰られてから、かならずいっそううりっぱに毛主席の指示にしたがい、党中央の十六カ条にしたがい、すべての阻害する力をつき破り、さまざまな困難をのりこえて、プロレタリア文化大革命をいっそうすさまじい勢いでくりひろげられるものと信じています。

当面のプロレタリア文化大革命の情勢は、ひじょうにすばらしいものです。

紅衛兵および他の青少年の革命組織は、まるで雨後の竹の子のように発展しています。かれらは街頭にくり出して、「四旧」（旧思想、旧文化、旧風俗、旧習慣）を一扫しています。文化大革命は、すでに政治にふ

れ、経済にふれるにいたっています。学校での闘争、批判、改革が、すでに社会での闘争、批判、改革にまで発展しています。大衆の革命的奔流は、旧社会が残してきたあらゆるきたない泥やけがれた水を洗いさり、わが国社会の全貌をすっかり改めつつあります。

革命的小将のみなさん、毛主席と党中央は、あなたがたの、大胆に考え、大胆にものいい、大胆に行動し、大胆に突進し、大胆に革命をおこなうプロレタリアートの革命的精神を熱烈に賞賛しています。あなたがたはたくさんのよい事をし、たくさんのよい提案をしました。わたしたちはたいへん喜んでおり、熱烈にあなたがたを支持します。そして、あなたがたを抑圧することにだんこ反対します。あなたがたの革命的行動は実にすばらしいものです。わたしたちはあなたがたに歓呼の声を送り、あなたがたに敬意を表します。

同志のみなさん、学生のみなさん

わたしたちは、かならず毛主席の教えにしたがって、大胆にたたかい、大胆に革命をやり、上手にたたかい、上手に革命をやらなければなりません。わたしたちは毛沢東思想をプロレタリア文化大革命の指針とし、真剣に、全面的に、徹底的に、完全に十六カ条をつらぬかなければなりません。

わたしたちは、かならず毛主席の教えにしたがって、だれがわたしたちの敵であり、だれがわたしたちの友であるかを、はっきりと区別しなければなりません。そして、大多数の人びとと団結し、力を集中して、ひとにぎりのブルジョア右派分子に打撃を与えるよう注意しなければなりません。打撃の重点、それは党内にもぐりこんだ資本主義の道をあゆむ実権派です。かならずこの闘争の大きな方向をつかまなければなりません。

わたしたちは、かならず毛主席の教えにしたがって、道理を説く闘争をおこない、暴力をもちいてはなりません。

ん。手をだして人をなぐってはなりません。資本主義の道をあゆむ実権派と闘争するばあいも、地主分子、富農分子、反革命分子、悪質分子、右派分子と闘争するばあいも、そのとおりです。暴力による闘争は、肉体にふれるだけです。道理を説く闘争によつてはじめて魂にふれることができます。道理を説く闘争をおこない、あますところなく暴露し、深くつつこんで批判してこそ、かれらの反革命の姿を徹底的にあばきだし、かれらを最大限に孤立させ、鼻もちならぬものにし、たたきつぶし、うち倒すことができます。

各大学、中学校の紅衛兵および他の青少年の革命組織は、文化大革命の急先鋒であり、人民解放軍の強大な予備軍です。

学生のみなさん、紅衛兵戦士のみなさん、あなたがたは永遠に党に忠実であり、人民に忠実であり、毛主席に忠実であり、毛沢東思想に忠実でなければなりません。そして、毛主席の著作を實際と結びつけて学び、運用することに努力し、運用することに思い切り力をそがなければなりません。また、誠心誠意人民に奉仕し、大衆と緊密に結びつき、党の政策を模範的に実行し、人民の利益をまもり、国家の財産を大切にし、三大規律八項注意をまもらなければなりません。

学生のみなさん、わたしたちが真剣に毛主席の著作を読み、毛主席の話を聞き、毛主席の指示どおりに事をはこびさえすれば、プロレタリア文化大革命はかならず偉大な勝利をかちとることができるのです。帝国主義、現代修正主義、すべての反動派を、わたしたちの勝利のまえにふるえあがらせましょう。

プロレタリア文化大革命万歳！

中国共産党万歳！

無敵の毛沢東思想万歳！

偉大な指導者毛主席万歳！ 万歳！ 万万歳！

全国各地から北京にやってきた革命的教員・学生と

会見するための大会における林彪同志のあいさつ

(一九六六年九月十五日)

同志のみなさん、学生のみなさん、紅衛兵戦士のみなさん

あなたがたは、プロレタリア文化大革命をりっぱにやりぬくために、全国各地から北京に、わたしたちの偉大な指導者毛主席のそばにやってきました。ご苦労さまでした。わたしは、毛主席に代わり、党中央を代表して、あなたがたにあいさつをおくりします。わたしたちはあなたがたを熱烈に歓迎します。

わが国のプロレタリア文化大革命は、毛主席の指導のもとに、毛主席が中心となって制定された十六カ条を指針として、いま、全国で勝利のうちに発展しています。情勢はひじょうにすばらしく、ますますすばしくなっています。

紅衛兵戦士のみなさん、革命的学生のみなさん、あなたがたの闘争の大きな方向は終始正しいものです。毛主席と党中央はあなたがたを断固支持しています。広はんな労働兵大衆もあなたがたを断固支持しています。あなたがたの革命的な行動は、社会全体をゆり動かし、ふるい世界が残してきた残さいをゆり動かしました。あなたがたは「四旧」を大いにうちこわし、「四新」(新思想、新文化、新風俗、新習慣)を大いにうちたてる

たたかひのなかで、輝かしい戦果をあげました。あなたがたは、資本主義の道をあゆむ実権派、ブルジョアジートの反動的「権威者」、吸血鬼や寄生虫どもをあわてふためかせました。あなたがたは正しいことをやっております。それをりっぱにやっています。

毛主席は、プロレタリア文化大革命が解決しなければならない根本的な矛盾は、プロレタリアートとブルジョアジートの二つの階級、社会主義と資本主義の二つの道の矛盾であると、わたしたちに教えています。今回の運動の重点は、党内の資本主義の道をあゆむ実権派と闘争することです。司令部を砲撃するとは、つまり、資本主義の道をあゆむひとにぎりの実権派を砲撃することです。わたしたちの国家はプロレタリア独裁の社会主義国家です。わたしたちの国家の指導権はプロレタリアートの手ににぎられています。資本主義の道をあゆむひとにぎりの実権派を闘争によってうち倒すのは、まさに、わたしたちのプロレタリア独裁をうちかため、強化するためであります。ひとにぎりの反動的なブルジョア分子、まだよく改造されていない地主分子、富農分子、反革命分子、悪質分子、右派分子など五種類の分子はわたしたちとは違い、プロレタリアートを先頭とする広はんな革命的人民大衆のかれらにたいする独裁に反対し、わたしたちプロレタリアートの革命的な司令部を砲撃しようとしていることは、明らかであります。わたしたちはかれらがそうするのを許すことができますでしょうか。できません。わたしたちはこれら妖怪変化の陰謀詭計を粉碎し、かれらを見破らなければならず、かれらの陰謀を実現させてはなりません。かれらはほんのひとにぎりにすぎませんが、ときにはいちぶのよい人たちをだますこともできます。わたしたちはかならず闘争の大きな方向をしつかりとつかんでいなければなりません。この大きな方向から離れば、あやまった道をあゆむことになります。

プロレタリア文化大革命のなかで、広はんな労働兵大衆と革命的学生の目標は共通しており、方向は一致してあります。みんなは毛沢東思想の旗のもとに団結し、手をたさえて前進しなければなりません。

いま、いちぶの人びとは、毛主席の指示にそむき、十六カ条にそむいて、労働大衆の党と毛主席にたいする深い階級の感情を利用して、労働大衆と革命的學生との対立をつくりだし、労働大衆を挑発して革命的學生とたたかわせています。わたしたちはけつてかれらの手にのつてはなりません。

毛主席をはじめとする中国共産党の指導下にある労働兵大衆は、これまでずっとわが国の革命の主力軍でした。こんにち、かれらはわが国の社会主義革命と社会主義建設の主力軍であり、また、わが国のプロレタリア文化大革命の主力軍でもあります。

わたしたち労働兵大衆は、かならず毛主席の話を聞き、生産の部署をしつかりと守り、戦闘の部署をしつかりと守らなければなりません。断固として革命的學生の側に立ち、かれらの革命的な行動を支持し、かれらの力強い後だてにならなければなりません。

紅衛兵とすべての革命的青少年は、わが国人民のすぐれた子女です。あなたがたは労働兵に学ばなければなりません。かれらのもつとも断固とした革命的立場、もつとも徹底した革命的精神に学ばなければなりません。かれらの高度の組織性、規律性とすべてのすぐれた品性を学ばなければなりません。労働兵のように、永遠に毛主席に忠実であり、毛沢東思想に忠実であり、党に忠実であり、人民に忠実であり、革命闘争のあらしのなかで、自分をプロレタリア革命事業の後継者に鍛えあげなければなりません。

わたしたちの偉大な指導者、偉大な教師、偉大な統帥者、偉大な舵手毛主席の指導のもとに、毛沢東思想の旗

のもとに、労働兵大衆と革命的學生は団結し、すべての革命的な同志は団結して、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめましょう。

プロレタリア文化大革命万歳！

偉大な中国共産党万歳！

無敵の毛沢東思想万歳！

偉大な指導者毛主席万歳！ 万歳！ 万万歳！

プロレタリア文化大革命を祝う

大衆集会での周恩来同志のあいさつ

(一九六六年八月十八日)

同志のみなさん、學生のみなさん

こんにちは。

みなさん元気ですか。みなさんに、プロレタリアートの革命的あいさつをおくりします。

わたしたちは、全国各地からやってきた革命的な學生と教員・職員・労働者に、心からの歓迎の意を表します。みなさんご苦労さまでした。

党中央は、つい先日第十一回総会をひらいたばかりです。この会議は、毛主席がみずから主宰してひらかれたものです。これは偉大な歴史的意義をもつ会議です。こんどの会議の成功は、毛沢東思想の新しい勝利です。ここ数日、全北京は喜びにわき立ち、全国の都市と農村は喜びにわき立ち、いたるところでドラや太鼓がうち鳴らされ、喜びのメッセーじがおくられ、祝賀会がひらかれ、決意書が書かれています。なん億という人民が、プロレタリア文化大革命の奔流に身を投じているのです。きょうまた、わたしたちは、天安門広場で、わたしたちの偉大な指導者毛主席とともに祝賀大会をひらき、プロレタリア文化大革命の新しい高まりを迎えています。

こんどの会議が採択した十六カ条は、毛主席みずからの指導のもとで制定されたものであり、プロレタリア文化大革命の綱領です。すべての革命的な同志は、みな真剣にこれを学習し、これを熟知し、これを掌握し、これを運用しなければなりません。これは、わたしたちのプロレタリア文化大革命の戦闘の武器であり、わたしたちの行動の指針です。わたしたちは、かならず、この偉大な綱領をよく学び、運用し、わたしたちの实际行动に貫いていかなければなりません。

毛主席は、わたしたちに、革命は自分にたよらなければならない、と教えています。わたしたちは、自分で自分を教育し、自分で自分を解放し、自分で立ちあがって革命をおこなわなければなりません。すべての革命家は、誠心誠意人民に奉仕し、人民の勤務員となり、まず大衆の生徒となつてから、そのあとで大衆の先生とならなければなりません。なにもかも請け負って代行したり、役人風や旦那風を吹かせたり、大衆の上に立つてでたらしめな指揮をしたりすることに、だんことして反対しなければなりません。

わたしたちは、北京市の革命的學生と各地から来た革命的學生が、たがいに学びあい、支援しあい、革命の経験を交流し、革命的団結を強めるよう希望します。首都の學生のみなさん、あなたがたは主人です。あなたがたは、お客さまを十分にもてなし、プロレタリア的な友愛の精神を発揮し、かれらが困難を解決するのを熱情をもつて援助し、問題があればよく話し合うようにしなければなりません。

北京市の革命的教員・學生も、各地の革命的教員・學生も、そのおもな任務は、自分の所属単位の文化大革命をりつぱにやりとげること、つまり第一に闘争をりつぱにおこない、第二に批判をりつぱにおこない、第三に改革をりつぱにおこなうことです。これは、ひじょうに光榮ある、またなみなならぬ任務です。あなたがたは、

かならず、大胆に自分でこの重荷をかつがなければなりません。わたしたちは、あなたがたがかならずこの重荷をかつぐことができると信じます。

プロレタリア文化大革命のなかで、わたしたちは、大いにブルジョア思想をたたきつぶし、大いにプロレタリア思想をうち立てなければなりません。言いかえれば、大いに毛沢東思想をうち立てることです。大海を航行するには舵手にたよる。わたしたちの偉大な舵手、それは毛主席です。わたしたちは、林彪同志のよびかけにこたえて、毛主席の著作を實際と結びつけて学び運用する大衆運動を、全党、全軍、全国でいっそうくり広げなければなりません。

わたしたちは、かならず、毛沢東思想の偉大な赤旗を高くかかげ、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめ、社会主義の中国をプロレタリアートの難攻不落の國家にきずきあげ、中国人民と世界の革命的人民がわたしたちに課した光榮ある歴史的使命をはたさなければなりません。

プロレタリア文化大革命万歳！

プロレタリアート独裁万歳！

中国共産党万歳！

無敵の毛沢東思想万歳！

わたしたちの偉大な指導者毛主席万歳！ 万万歳！

各地から北京にやってきた革命的教員・学生と 会見するための大会における周恩来同志のあいさつ

(一九六六年八月三十一日)

同志のみなさん、学生のみなさん

こんにちは。

みなさんは、祖国の各地から、プロレタリア文化大革命の中心地、人民の首都北京へ来られました。わたしたちは心から歓迎の意を表します。

北京は毛主席の住まれているところです。わたしたちの偉大な指導者毛主席は、プロレタリア文化大革命の偉大な統帥者です。毛主席は、わたしたちの偉大な教師、偉大な舵手であり、わたしたちの心のなかのまっ赤な太陽です。

プロレタリア文化大革命は、毛主席がみずからおこされたものです。毛主席は大衆と心をついにし、大衆をかぎりなく信頼し、大衆の創意性を支持しておられます。全国の革命的人民は、毛主席の呼びかけに心からこたえ、すさまじい勢いの文化大革命の高まりをまきおこしました。

毛主席がみずから中心となって制定された『プロレタリア文化大革命についての決定』は、プロレタリア文化

大革命の綱領であります。この文書は、わたしたちに、大衆が自分で自分を教育し、自分で自分を解放し、自分で立ちあがって革命をおこなうようにしなければならぬ、と教えています。わたしたちは、この決定を、プロレタリア文化大革命をおしすすめる戦闘の武器とし、わたしたちの行動の指針としなければなりません。すべての革命的同志は、みな真剣に、くりかえしこれを学習し、これを熟知し、これを掌握し、これを運用しなければなりません。

いま、プロレタリア文化大革命はあらたな高まりにはいりました。全国各地の青少年は、紅衛兵や他の革命組織をつくりあげています。これは、はじめての偉大な革命的壮挙です。わが紅衛兵の小勇将たちは、「四旧」をたたきつぶし、「四新」をうち立て、プロレタリア文化大革命のなかで、敵陣に突撃する急先鋒となっています。あなたがたの、大胆に考え、大胆にものをいい、大胆に行動し、大胆に突進し、大胆に革命をやり、大胆に謀反を起す精神は、全国の広範な労働者、農民、兵士と革命的幹部の熱烈な支持をうけています。わたしたちは、英雄的な紅衛兵に歓呼の声をおくります。わたしたちの紅衛兵に敬意を表します。革命的な青少年に敬意を表します。

わたしたちの紅衛兵は、解放軍を手本としてうちたてられたものです。大いに解放軍に学ぶことは、紅衛兵の戦闘的スローガンです。解放軍のように、毛沢東思想の偉大な赤旗を高くかかげて、毛主席の著作を読み、毛主席の話を聞き、毛主席の指示どおりに事をはこび、毛主席の著作を實際と結びつけて学び、運用しなければならず、永遠に毛主席のりっぱな学生、りっぱな戦士とならなければならず、永遠に覚に忠実であり、人民に忠実であり、毛主席に忠実であり、毛沢東思想に忠実でなければなりません。解放軍のように、誠心誠意人民に奉仕

し、大衆と緊密に結びつき、大衆路線を實行し、永遠に人民の忠実な勤務員とならなければなりません。解放軍の三八作風を学習し、三大規律八項注意を遵守して、大衆の利益を守り、国家の財産を守り、社会主義のすぐれた新しい気風をつくりあげなければなりません。紅衛兵は、高度の政治的自覚と高度の組織性、規律性をもった戦闘部隊にすぎきあげられ、解放軍のたよりになる予備軍にすぎきあげられなければなりません。

わたしたちは、大胆にたたかい、上手にたたかわなければなりません。つねに、階級分析の方法を運用するよう心をくばり、進歩的勢力をのびし、中間勢力をちとり、大多数の人びとと団結し、力を集中してひとにぎりのブルジョア右派分子に打撃を与えるよう心をくばらなければなりません。闘争のなかでは、道理を説く闘争によるべきであつて、暴力をもちいてはなりません。道理を説く闘争によつてこそ、大衆を教育し、もつとも効果的に敵をたたきつぶすことができます。わたしたちの紅衛兵は、かならず闘争のなかで成長し、知勇をかねそなえた猛将になることができます。

いま、全国各地の学生が北京へきて経験を交流し、北京の学生も各地へ出かけて革命的な連係をおこなっています。わたしたちは、これはひじょうによいことであると考え、あなたがたを支持します。中央は、全国各地のすべての大学生と中学生の一部代表とが、時期を分け、組を分けて北京にくることを決定しました。地元の学生と、各地からきた学生は、共同で文化大革命をつばにやりとげるといふ原則を基礎に、革命的団結を強めなければなりません。問題があり、異なつた意見があれば、調査研究し、平等な立場で話しあうという方法で解決しなければなりません。みなさんもご存じのように、各地方、各単位の文化大革命は、みなその地方、その単位の大衆自身の行動に依拠してこそ、はじめてほんとうにりつばにやりとげ、徹底的にやりとげることができるので

す。わたしたちは、全国が大きく連係するこの革命的行動は、かならずプロレタリア文化大革命の深化、発展を力強くおしすすめるものと、信じます。

同志のみなさん、学生のみなさん

革命は容易なことではありません。勝利をかちとるには、あらゆる阻害する力にうち勝ち、あらゆる困難を克服しなければなりません。あなたがたは、かならず、毛沢東思想の偉大な赤旗を高くかかげ、毛主席がみずから中心となつて制定された十六カ条を掌握、運用し、広範な労働者、農民、兵士と一つになり、広範な革命的大衆と一つになり、自分の力にたより、さまざまな阻害する力を克服し、あらゆる困難にうち勝つて、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめることができます、とわたしたちは信じています。

偉大なプロレタリア文化大革命万歳！

偉大なプロレタリアート独裁万歳！

偉大な中国共産党万歳！

偉大な無敵の毛沢東思想万歳！

わたしたちの偉大な指導者毛主席万歳！

万歳！ 万万歳！

全国各地から北京にやってきた革命的教員・学生と 会見するための大会における周恩来同志のあいさつ

(一九六六年九月十五日)

同志のみなさん、学生のみなさん

わたしたちは、あなたがたを心から歓迎します。あなたがたが全国津々浦々からプロレタリア文化大革命の中心地——北京に、偉大な指導者毛主席のそばにやって来られたことを歓迎します。

わたしたちのもっとも敬愛する指導者毛主席が、みなさんと親しく会見されましたが、これはわたしたちにしたがってこのうえなく深い関心であり、このうえなく大きなはげましであります。これはわたしたちにとってもっとも幸福なことであり、もっとも光栄なことでもあります。

プロレタリア文化大革命は人びとの魂を改造する大革命であり、また、社会の生産をうながす大革命でもあります。

毛主席がみずから中心となって制定された十六カ条はつぎのように指摘しています。

「プロレタリア文化大革命は、わが国の社会的生産力を発展させる強大な推進力である」

「プロレタリア文化大革命は、人の思想を革命化させるためのものであって、それによって、それぞれの仕事

がより多く、より早く、よりりっぱに、よりむだなくおこなわれるようになる」

プロレタリア文化大革命の高まりがまきおこるとともに、わが国の工業・農業生産にはいつそう新たな様相、いつそう新たな繁栄が現われてきています。

工業・農業生産をりっぱにやりとげることは、他にひじょうに大きなかわりをもっています。それはわが国の社会主義建設にかかわっており、第三次五年計画にかかわっており、都市と農村の人民の生活にかかわっており、プロレタリア文化大革命にかかわっています。それはまた、ベトナム人民の抗米救国闘争を支援することにかかわっており、全世界の被抑圧人民と被抑圧民族の革命闘争を支援することにかかわっています。

わたしたちはかならず毛主席のよびかけにこたえ、一方で革命に力をいれ、一方で生産に力をいれて、文化大革命と工業・農業生産の両方の勝利を保証しなければなりません。

広はんな労働者、人民公社の社員、科学・技術要員、機関・企業の幹部はみな、それぞれの生産の部署をしっかりとし、時機を失することなく生産の一環一環をつかみ、文化大革命のなかではとばしりてたすさまじい意気込みを工業・農業生産と科学実験のなかにもちこまなければなりません。

同志のみなさん、学生のみなさん

工業・農業生産を正常におこなうのに有利なように、大学・中学校の紅衛兵と革命的學生は、いまのところ、工場や企業体、県以下の機関、農村の人民公社などへ革命的連係を結びに行くことはやめましょう。これらのところの革命は、当初の「四清」（政治を清め、思想を清め、組織を清め、経済を清める社会主義教育運動のことである）の按配にもとづいて、計画的に、段どりをおこなわれなければならず、工場、農村は学校

のように休んで、生産をやめて革命をやるわけにはゆきません。革命的學生は、労働者・農民大衆を尊重し、労働者・農民大衆を信頼し、労働者・農民大衆が完全に自分の力にたよってりっぱに革命をやることができるということを感じなければなりません。

すでに、秋の取入れと種まきのひじょうに忙しい時期がやってきています。大学・中学校の紅衛兵と革命的教員・學生は、組織的に農村へ出かけて労働に参加し、取入れを手伝い、貧農・下層中農の革命的な意気ごみと勤勉に働く品性を学ばなければなりません。

同志のみなさん、學生のみなさん、あなたがたは、プロレタリア文化大革命のなかで、ひじょうに大きな役割を果たしました。わたしたちは、あなたがたの革命的な行動を心から歓迎し、断固支持します。わたしたちは、あなたがたがかならず毛沢東思想の偉大な赤旗を高くかかげて、革命のなかで革命を学び、自分自身を毛主席のりっぱな戦士、りっぱな學生にきたえあげ、共產主義的な新しい世代の人間にきたえあげるものと、かたく信じています。

プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめよう！

革命に力をいれ、生産をうながし、社会主義建設の新たな高まりを迎えよう！

偉大な中国各民族人民万歳！

偉大な中国共産党万歳！

偉大な毛沢東思想万歳！

偉大な指導者毛主席万歳！ 万歳！ 万万歳！

文化大革命の思想的武器を掌握しよう

『人民日報』社説

(一九六六年八月十一日)

中国共産党中央委員会のプロレタリア文化大革命についての決定は、わが国の人民大衆に、われわれの偉大な指導者毛沢東同志の声を伝えた。

この決定は、わが国の広範な大衆がプロレタリア文化革命運動のなかで生みだした新しい経験を総括し、かれらの革命的な創意性を反映している。

毛沢東同志はつぎのようにいつている。われわれの政策は、これを指導者に知らせ、幹部に知らせるだけでなく、広範な大衆にも知らせなければならない。大衆は、真理を知り、共通の目的をもてば、心を一にしてやるようになる。大衆の心が一つになれば、なにごとともうまくいく、と。

広範な労働者・農民・兵士大衆、すべての共産党員、革命的な勤務員、革命的な知識人、革命的な教員・學生は、みな党中央のこの決定を真剣に学ばなければならない。これを熟知し、これに精通し、これを運用しなければならない。決定のなかで規定されている方針、政策と、自分の単位のこと一時期の文化革命の状況とを比較、対照して、正しいものはそのままつづけ、誤っているものはだんこととして改め、まだおこなっていないものはお

こなるようにしなければならない。

二種類の、相反した方針、相反した政策、相反した方法がある。一つは、大衆を信頼し、大衆に依拠し、大衆を思いきって立ちあがらせ、大衆が運動のなかでみずから自己を解放し、教育することができることを信じ、大衆の革命的精神と革命的行動を熱情こめて支持するというものである。他の一つは、革命の決定的な時機に、大衆と対立する側に立ち、大衆を押しつけるというものである。前者は、マルクス・レーニン主義、毛沢東思想の革命的路線を実行するものである。後者は、反マルクス・レーニン主義、反毛沢東思想の誤った路線を実行するものである。

誤った路線にたいしては、だんことして排斥し、批判し、闘争しなければならない。こうしてこそ、はじめて正しい路線を貫くことができ、文化大革命を勝利に向かわせることができるのである。

プロレタリア文化革命は、史上前例をみない大革命である。こうした革命がさまざまな阻害する力にぶつからないということは、ありえない。まさに決定が指摘しているように、「このような阻害する力は、いまのところまだかなり大きく、がん強である」。党中央の決定を貫こうとすれば、どうしても、党内の誤った路線と闘争をおこない、種々さまざまな日和見主義と闘争をおこない、ふるい社会の習慣の力と闘争をおこなわなければならない。

マルクスとエンゲルスは『共産党宣言』のなかで、「共産主義革命は、伝来の所有諸関係のもつとも徹底的な絶縁である。だから、この革命の発展過程で伝来の觀念ともつとも徹底的に絶縁するのは、なんら不思議ではない」といつている。

現在すすめられているこのプロレタリア文化大革命は、ブルジョアジーといっさいの搾取階級のイデオロギーをとりのぞくためのものであり、資本主義復活の準備をおこなう旧思想、旧文化、旧風俗、旧習慣を消滅するためのものであり、毛沢東思想をもつとも広範な大衆に掌握させ、社会主義の新思想、新文化、新風俗、新習慣を創造するためのものである。

わが国七億の人民は、党中央の決定というこの強力な思想的武器を掌握すれば、かならず、いっそう団結を固め、いく重もの障害をつき破り、天地をくつがえすような力を發揮して、資本主義の道をあゆむ党内の実権派をうち倒し、あらゆる妖怪変化を一掃することができる。

大海を航行するには舵手にたよる

『人民日報』社説

(一九六六年八月十五日)

わが国の社会主義革命の新しい段階において、プロレタリア文化大革命の発展のうえでのカギとなる時点に、毛沢東同志はみずから主宰して党の第八期中央委員会第十一回総会をひらいた。この会議はわが国の社会主義革命の新しい段階を示す里程碑である。

社会主義国家には、生産手段所有制の面での社会主義的改造が基本的に完成した後においても、依然として、どのような道をあゆむかという問題が存在している。社会主義革命を最後までやりぬき、一步一步共産主義に向かって移行していくか、それとも途中でやめて、資本主義に向かって後退するか。この問題が人びとの前にするどく提起されている。毛沢東同志は、わが国の革命と国際共産主義運動の正、反面の経験を総括し、くみ取って、この問題に理論のうえで回答を与え、実践のなかでこれを次第に解決しつつある。

毛沢東同志は、一九六二年の党の第八期中央委員会第十回総会で、社会主義社会の矛盾、階級、階級闘争についての理論をふたたび強調し、われわれに向かって、絶対に階級闘争を忘れてはならない、という偉大な呼びかけをおこなった。ここ数年のあいだに、毛沢東同志は、また、社会主義革命と社会主義建設にかんする一連の英

明な政策決定を提起し、社会主義教育運動とプロレタリア文化大革命にかんする一連の重要な指示をおこない、帝国主義に反対すること、アメリカ帝国主義とその手先に反対するもつとも広範な国際統一戦線を結成すること、現代修正主義に反対すること、世界のすべての被抑圧人民、被抑圧民族の革命闘争を支持することなどにかんする一連の重大な方針を提起した。これらは、わが国のプロレタリアート独裁と社会主義制度を強化し、党と国家の指導権を修正主義に奪いとられるのをふせぎ、資本主義の復活をふせぎ、わが国がプロレタリア国際主義を堅持することを保証するうえで、いずれも根本的な問題である。

大海を航行するには舵手にたよる。

毛沢東同志こそ、わが国の革命の偉大な舵手である。

数十年らい、わが国の革命が重要な時点にさしかかるとその都度、たちこめた霧をはらいのけ、航行の方向を正して、われわれの革命の大海を無数の危険な浅瀬や暗礁からさげさせ、さかまく波のなかを、マルクス・レーニン主義の革命航路に沿って、勝利のうちに前進させることができたのは、ほかでもなく党と人民大衆に舵をとってくれる毛沢東同志のような天才的な舵手がいたからであり、偉大な毛沢東思想の指針があったからである。

レーニンは「革命の理論がなければ、革命の運動もありえない」とのべた。まったくその通りである。毛沢東思想がなければ、偉大で、光栄ある、正しい中国共産党はありえず、わが国の民主主義革命と社会主義革命の勝利はありえず、新中国はありえず、またわが国を偉大な社会主義国家にきざきあげることはできず、わが国人民を世界で永遠に立ちあがらせ、永遠に前進させることはできない。

林彪同志は、わが国の革命とわが国の前途にとって、毛沢東思想がこのうえなく重要であることをひじょうに

正しく説明している。林彪同志は、「わが国は偉大なプロレタリアート独裁の社会主義国家で、七億の人口を擁しており、統一した思想、革命の思想、正しい思想が必要である。それは毛沢東思想である」とのべている。

わが国のプロレタリア文化大革命の根本的な任務は、毛沢東思想をもつとも広範な大衆に掌握させ、人の思想の革命化をいっそう促し、精神的力を一段と、社会を改造し、自然を改造する巨大な物質的力に変えることである。

われわれは毛沢東思想の偉大な赤旗をさらに高くかかげ、毛沢東同志をはじめとする党中央の周囲にいっそう緊密に結集し、党の第八期中央委員会第十一回総会の公報で指摘された各政策の実行につとめ、団結できるすべての人びとと団結し、自力によって立ちあがり、奮起して国の富強をはかり、あらゆる阻害する力と困難を克服し、プロレタリア文化大革命を最後までおしすすめ、社会主義革命を最後までおしすすめ、帝国主義と現代修正主義に反対する闘争を最後までおしすすめよう。

わが国を強大な社会主義国家にきざきあげるために奮闘しよう。

世界諸国人民と連合して、帝国主義のない、資本主義のない、搾取制度のない新しい世界をうちたてるために奮闘しよう。

中国人民の大団結万歳！

世界人民の大団結万歳！

泳ぐなかで泳ぎを覚える

『人民日報』社説

(一九六六年八月十七日)

毛沢東同志はいつもわれわれにこう教えている。すべての革命家、すべての革命的青年は、風雨にさらされて世間を知らなければならぬ、と。革命家は温室の中で成長できるものではなく、あれくるう風波の中で自分をきたえなければならぬ。

われわれが泳ぎを覚えるには、泳ぎを覚えるから水にはいるのではなく、泳ぐなかで泳ぎを覚えるのである。われわれが革命をおこなう場合でも、学んでからおこなうのではなく、おこなうなかで学ぶのであり、おこなうから、学ぶのである。おこなうことがつまり学ぶことなのである。

一人ひとりの革命家、一人ひとりの革命的青年は、毛主席の真にすぐれた学生になり、プロレタリアートの革命事業の真の後継者になるためには、一人のこらすすんでプロレタリア文化大革命にくわり、闘争のなかで階級闘争をおこなう能力を身につけなければならない。

マルクスは「人が歩くことを覚えようとすれば、ころぶことも覚えなければならない。しかも、ころぶことによつてはじめて、歩くことを覚えることができるのだ」と言った。

また魯迅も「子供がはじめて歩行を練習する第一歩は、成人から見れば、たしかに幼稚で、危険で、格好がわるく、あるいは、まったくこつけいさえある。だが、どのような愚かな母親でも、心から希望をこめて、子供が第一歩を踏みだすのを見守っている」と言った。

革命はたやすいことではない。革命に勝利するためには、それを阻止するすべての力にうち勝ち、すべての困難を克服しなければならぬ。革命的青年たちは大衆という泥の中を何千回何万回もころげまわり、何千回何万回もの闘争の試練にたえぬき、起こりうるすべての思いがけない挫折にたえぬかなければならぬ。

毛沢東同志は、いかなる時でも大衆から離れてはならない、と言っている。こうすれば、われわれは大衆を知り、大衆を理解し、大衆と一緒にすることができ、また、立派に人民に奉仕することができる。

われわれは一人のこらず、人民の息子であり、勤労人民の血と汗で育てられたものであるということを、永遠に忘れてはならない。この点は絶対に忘れてはならない。勤労人民がわれわれの父であり、われわれの母であることを、あくまで覚えておかなければならない。われわれは、つつしみぶかい人民の息子、人民の学生になり、いつまでもいつまでも人民大衆の側に立ち、たえず人民大衆のことを考えていなければならない。

われわれは、プロレタリア文化大革命のなかで、毛沢東同志の著作をよく学習し、十六カ条をよく学習しなければならぬ。毛沢東思想というこの偉大な精神的武器を掌握しない限り、勝利のうちにこの闘争をすすめることはできない。また、闘争のなかで学んでこそ、毛沢東思想を真に身につけることができる。

われわれは闘争のなかで、自分をたえず改造しなければならぬ。一生涯実践し、一生涯学習し、一生涯自分を改造しなければならない。こうしてこそわれわれは、祖国にたいし、プロレタリア革命の事業にたいして、自

分がなすべき、しかも、できうる貢献をすることができる。

毛沢東思想の光に照らされて、さかまく文化大革命の激流のなかで勇敢にたたかおう。

たいへんけっこうだ！

『人民日報』社説

(一九六六年八月二十三日)

われわれは北京市の「紅衛兵」小勇将たちのプロレタリアートの革命的謀反精神に歓呼の声をあげる。
毛主席はつぎのようにのべている。

「マルクス主義の道理は数かぎりなくあるが、結局のところ、つぎの一句につきる。それは『謀反には道理がある』ということだ」

「金猴干鈞の棒を奮い起こせば 玉宇万里の埃をきよむべし」「紅衛兵」小勇将たちは、毛沢東思想を武器として、いまずすべての搾取階級の旧思想、旧文化、旧風俗、旧習慣のほこりを一掃しつつかある。

北京が解放されてからすでに十七年になる。しかし、修正主義の前北京市委員会の長期にわたる支配と抑圧のもとに、多くの場所の名称、商店の屋号、サービスマの少なからぬ古いきまりや習慣はいせんとして封建主義、資本主義の腐敗したにおいをまき散らし、人びとの魂を毒している。広範な革命的大衆は、実際もうこれ以上これらをもまんとすることができないのだ。

ほうきがとどかなければ、ごみはやはりひとりでに逃げはしない。なん千、なん万という「紅衛兵」が鉄のほ

うきをふりあげて、わずか数日のうちに、搾取階級の思想を代表するこれらの多くの名称や風俗習慣を大掃除してしまった。

これは、古いものをたたきつぶし、新しいものをうち立てる革命的行動である。プロレタリアートの革命的精神にかがやく新しい名称、新しい風俗、新しい習慣が、われわれの偉大な首都、プロレタリア革命の中心地に、さらにかぎりない光彩をそえた。

いたるところ革命的な標記と文字、いたるところ革命的な言葉と歌声。どの町内も、どの商店も、どの業種も、毛沢東思想を学ぶ学校となろうとしており、毛沢東思想を宣伝し、実行に移し、守る陣地となろうとしている。毛沢東思想があらゆるすみずみを明るく照らしている。

これは人びとを奮いたたせる大きな出来事であり、人びとに快談をさげばせるよろこばしい出来事である。

「紅衛兵」の革命的精神は、われわれの国家と人民に永遠に革命的な青春を保たせるであろう。

「紅衛兵」の革命的行動は、いかなるがん迷な旧勢力もはばむことのできない大きな奔流である。

「紅衛兵」のプロレタリアートの革命的謀反精神はたいへんけっこうである！

プロレタリア文化大革命を
最後までおしすすめよう

1966年 初版発行

定価 40 円

出版者

外文出版社
(北京阜成門外百万荘)

発行者

中国国際書店
(北京 P. O. Box 339)

編号: (日) 3050-1527

3-J-817P
00041

